



命の大切さ

校長室には、1枚の絵が飾ってあります。4年前の7月6日の豪雨災害で亡くなった、当時本校5年生の川野君の描いたポスターです。「いつまでも大切 ぼくの友だち」という言葉が添えてあります。私は、毎日この絵を見ながら、「今日も南小の子どもたちが仲よく過ごしてくれたらいいな。」と思っています。

当日の朝会で、子どもたちに川野君の絵を見せながら、「生きていることすばらしさ」「命の大切さ」「自然は美しいが、人間の力ではどうすることもできない災害をもたらすことがある」「だから防災や避難訓練を真剣にやろう」と話しかけました。真剣に聞いてくれたと思います。

お父さんやお母さんが感じた4年前の災害のことを子どもたちに話してやってください。繰り返し伝えていくことで「自分の命は自分で守る」気持ちを持たせてやりたいと強く思っています。

南小フレーの会

先週、たくさんの方（自治会長、民生委員、主任児童委員）にPTA役員の方に集まっていただき「南小フレーの会」を行いました。これまではコロナで中止や縮小していましたが、今回は予定通りに行いました。

以前、南小が生徒指導で困っていたときに、地域も協力したいという思いでこの会は発足したそうです。年3回集まっていただいて、学校からは、学校の経営方針や力を入れている取組、子どもたちの生活の様子を説明しています。地域の方からは、地域での子どもたちの生活の様子や、そろそろ学校と地域で行う行事を再開してはどうか、学校からの情報をもっと地域に発信してほしいなどのご意見をいただきました。

夕方の忙しい時間ですが、いつもたくさんの方が集まってくれます。地域に大切にされている南小であることを実感しています。ありがとうございます。

